

種

眠りの奥地 遙か彼方
希望は恐怖に怯えている・・・欲望の高笑いだ

際限なく続く 反応
お望みなら 目がかすむまで

何ものかが我々を急き立てる
奪取せよ と

一度でも失敗すれば 記録に残る
それは 執拗に追いかけてくる

張りめぐらされた 制度
テロでしか為し得ぬものは、確かにある

太陽はエネルギーの源泉以外のものではない
地球は心地よい惑星であればよい

「機能」とは、いわばコンセントである
現代の男と女を並べてみれば一目瞭然だ

泰然自若として酒をあおることなど
今や、知識人の面汚しもいいところ

あらゆるところに埋め込まれた
あの外部生命体を見るがいい

「そろそろ“種”として認めてやるべきでは？」と
なぜ誰も提議しないのか・・・

(2006.11.20)